

第12回(平成25年度)日本機能水学会学術大会報告

田仲紀陽先生メモリアル：電解水と医療

1. 紀陽会における強酸性電解水研究と活用の歩み 9
藤原功一、楠本裕美、荒川昌洋、藤澤達也、田仲 勝
(特定医療法人紀陽会 田仲北野田病院)
2. 医療における機能水の重要性 -電解水の活用と経口補水液- 14
靄 知光
(雪の聖母会聖マリア病院 小児外科)
3. 「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き」-その意義と課題- 15
岩澤篤郎
(「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒の在り方に関する調査研究委員会」)
4. 機能水技術認定制度について 22
堀田国元¹、藤原功一²
(¹財団法人機能水研究振興財団、²関西ウォーター研究会)

日本機能水学会発足時から理事、後に顧問として長年にわたってご尽力され田仲紀陽先生(特定医療法人紀陽会 会長)が平成25年7月3日に逝去されました(経歴は本誌9巻1号を参照のこと)。先生は、大阪府堺市と兵庫県加西市を二大拠点として紀陽会グループを率い、臨床家、経営者として地域医療、特に透析医療に大きな足跡を残されました。また、「腎疾患重篤度を判定する方法又は装置若しくはその作動方法」ほか多数の特許を国内外で取得されるなど、研究者としても数々の業績を上げられました。そして、機能水の潜在能を逸早く見抜かれ、透析装置の配管の洗浄消毒に強酸性電解水を効果的に活用する方法を確立されるとともに、関西ウォーター研究会の設立(平成11年)と運営、第8回機能水シンポジウムの主催(平成13年)、財団法人機能水研究振興財団(平成14年)と日本機能水学会(平成14年)の理事就任、第6回日本機能水学会学術大会の主催、さらに機能水技術認定制度の提唱など、医療分野における機能水の発展のために余人をもって代えがたいご尽力・ご貢献をされました。ここに、平成25年度日本機能水学会学術大会において田仲先生の追悼として組まれたセッションの記録を残すことになった次第です。